

令和 8 年度

一般選抜 A 日程 (2/3)

国語

出題意図

I	楠田恵美「河川・橋―架け／渡る―」（『ネットワークシティ―現代インフラの社会学』）の一部を素材とした。 本問は、一つのテーマを探求するために、様々な事例を比較しつつ論証をすすめる文章において、筆者の主張を正確に読み取る能力を問うことを意図して出題した。 問一は、本文のテーマを把握することができるかを問うものであり、問二は語彙力、問三、四、六、七、八、一〇は筆者の主観を正確に理解する能力を問うものである。
II	額賀滯「競歩王」（光文社）の一部を素材とした。 本問は、現代小説テキストにおける作中人物の心理描写を的確に読み取る能力を問うことを意図して出題した。 問一は漢字知識、問二、三、四、五、六、九は、作中人物の心情を読み取る能力を問うものである。 また、問七、八は、作中人物の様子や行動を他の文脈から類推する力を問うものである。
III	堀辰雄「辛夷の花」（『日本近代随筆選2 大地の声』 岩波書店）を素材とした。 本問は、随筆における作中人物の心理描写を的確に読み取る能力を問うことを意図して出題した。 問一は、作中人物の感覚の根拠を読み取る力を問うものであり、問二、三、問五は語彙知識を問うものである。 問四、六、七は作中人物の心情を読み取る力を問うものである。 問八は、話し合い活動の場というシチュエーションを設定し、正確な内容理解がなされているかを測る問題である。 最後の問九は、文学史の知識を問うものである。